

コ	ス	口腔腫瘍病理学 (Pathology of Oral Tumors)	
学年・期・単位	第3学年・前期・1単位	科目担当責任者	梶木 恵一 (顎顔面診断科学講座病理学分野教授)
オフィスアワー	毎週金曜日17:30～ (第2研究棟5階病理学分野研究室)	メールアドレス	ktsukino@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	口腔領域には極めて多種類の腫瘍が発生することから、その理論を理解することは歯科临床上において極めて重要である。そこで、腫瘍の発生原因、特徴、分類、疫学の総論的理論を理解し、口腔腫瘍の理解の基礎を習得する。さらに口腔に発生する腫瘍の特徴と病理組織学的所見を理解する。また、病理検査の意義を理解し、病理診断法を習得する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 腫瘍学総論	腫瘍の総論的事象の理解による腫瘍の基本概念を理解する。
2. 口腔腫瘍病理学	腫瘍総論の十分な理解による口腔原発腫瘍性疾患の分類と特徴、病理組織学的所見を理解する。
3. 病理検査医学	病理検査法の概要を説明でき病理検査の対象となる疾患を理解する。
4. 全身腫瘍病理学	口腔以外の臓器に発生する疾患から口腔腫瘍の基本概念を理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A スタンダード口腔病理病態学	梶木恵一・窪田展久 他	学建書院
B スタンダード病理学	梶木恵一 他	学建書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
わかる病理組織像	梶木恵一	学建書院

評価法 (EV)
マークシート形式の試験を行い中間試験25%、本試験75%の配分とし合計60点以上の者を合格とする。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	腫瘍学総論	1. 腫瘍の発生原因を説明できる。 2. 腫瘍の病理学的、生物学的意義を説明できる。	B パワーポイントにより解説する。 P244-P275	槻木恵一	D-4-5 必14-A-g 総-(VI)-7
2	4/8		1. 腫瘍の定義を述べるができる。 2. 腫瘍を発生母組織に基づいて分類できる。	B パワーポイントにより解説する。 P244-P275	槻木恵一	D-4-5 必14-A-g 総-(VI)-7
3	4/15		1. 悪性腫瘍と良性腫瘍の差異を述べるができる。 2. 転移形式について説明できる。 3. 異型性の概念を述べるができる。 4. 非上皮性腫瘍と上皮性腫瘍との違いを具体的に述べるができる。	B パワーポイントにより解説する。 P244-P275	槻木恵一	D-4-5 必14-A-g 総-(VI)-7
4	4/22		1. 分類に基づき具体的な例を挙げる。 2. 上皮性異形成の概念を説明できる。 3. 前癌状態と前癌病変の違いを説明できる。 4. 腫瘍の疫学を説明できる。	B パワーポイントにより解説する。 P244-P275	槻木恵一	D-4-5 必14-A-g 総-(VI)-7
5	5/6	口腔腫瘍病理学	1. 口腔腫瘍を分類でき、臨床病理学的特徴を説明できる。 2. 非歯源性腫瘍を分類できる。	A 板書により解説する。 P195-P228	窪田展久	F-2-4)-(3)-⑤⑥⑦⑨ ⑩⑫⑬ 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B~O
6	5/13		1. 非歯源性上皮性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。 2. 非歯源性上皮性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F-2-4)-(3)-⑤⑥⑦⑨ ⑩⑫⑬ 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B~O
7	5/20		1. 非歯源性非上皮性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。 2. 非歯源性非上皮性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F-2-4)-(3)-⑤⑥⑦⑨ ⑩⑫⑬ 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B~O
8	5/27		腫瘍状病変を分類し、病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F-2-4)-(3)-⑤⑥⑦⑨ ⑩⑫⑬ 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B~O
9	6/3		1. 歯の発生を説明できる。 2. 歯源性腫瘍を分類できる。 3. 歯源性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。	A パワーポイントにより解説する。 p173-P193	槻木恵一	F-2-4)-(3)-⑦⑬ F-3-1-① 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B
10	6/10		歯源性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		槻木恵一	必13-B-i 必14-B-j 各-IV-(I)-5-B
11	6/17		1. 唾液腺の構造を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の分類と臨床病理学的特徴を説明できる。	A パワーポイントにより解説する。 P240-P252	槻木恵一	F-2-4)-(5)-①~⑤ D-2-3)-(11)-③ F-2-2)-④⑤
12	6/24		唾液腺腫瘍の分類と臨床病理学的特徴を説明できる。		槻木恵一	必14-B-j 各-IV-(III)-1-U・V
13	7/1	病理検査医学	1. 病理診断の意義を説明できる。 2. 細胞診・組織診・病理解剖の意義を説明できる。 3. 固定法・標本作製過程が説明できる。	A 板書により解説する。 P273-P280	窪田展久	F-2-4)-(3)-⑦ 必11-F 総II-(IX)-3-G
14	7/8		免疫組織化学染色の意義と代表的な腫瘍マーカーを説明できる。	パワーポイントにより解説する。	長島洋治 (招聘講師) 槻木恵一	F-2-4)-(3)-⑦ 必11-F 総-(IX)-3-G
15	7/15	理学 全身腫瘍病	1. 臓器不全による死を説明できる。 2. 病理解剖の症例の死因を説明できる。	//	津浦幸夫 (招聘講師) 槻木恵一	必11-F 総-(IV)-13